

練馬・文化の会 会だより

共同代表：有原誠治 大内要三 小岩正子 小沼綾子 田場洋和 吉田巳蔵

事務局：森田彦一 TEL：03-3951-4276 FAX：03-3951-0616

(会費などの郵便振替：00150-7-130265 練馬・文化の会) ホームページ <http://www.nerimabunka.com/>

平和行進のドキュメンタリー「一歩でも二歩でも」を撮って 有原誠治

国民平和行進のドキュメンタリーは、過去に二本あります。平和行進を最初に始めた西本敦さんの活躍を記録した亀井文夫監督の『鳩ははばたく』（42分 ㈱日本ドキュメントフィルム 1958年）。もう一本は、被爆30年に平和行進募金隊の活躍に焦点を当てて撮った板谷紀之監督の『歩く』（34分 製作・上映委員会 1975年）。歩くというより“募金隊は走る”という形容がぴったりの熱血感動作です。

この『歩く』のプロデューサーが、2015年東京広島コースの通し行進者で『一歩でも二歩でも』の山口逸郎プロデューサーです。本作品は『鳩ははばたく』の中で、「歩くという単純な姿で、世界に日本人の良心を訴える！」との西本敦さんの言葉から始まります。

西本さんの歩み（1958年）に始まった国民平和行進は今に受継がれ、昨年で57年の歴史を持ちます。ですが、その存在を知る人々は少ないだけでなく、平和行進に参加した人々でさえ、総体としての平和行進とはどのようなもので、どんな役割を果たしてきたのかを知りませんでした。歩き通す人々も偉大ですが、それを迎えて、支えて、送り出す人々の奮闘努力があつての国民平和行進です。そこにスポットを当てたのが、本作品です。

「気持ちはみなさんといっしょ！」と語りながら、行進団に募金を渡す花屋さんがいました。行進を迎える前日に平和行進のチラシと募金袋を沿道に配布している地域では、募金の集まり方がちがいます。募金袋を持って沿道で待っている人々の姿、そして、それを深々と頭を下げて受け取る募金隊の交流は、実に感動的です。

驚きをもって撮影したのは、行進団が訪問す

る各自治体の対応です。市長、町長、議長たちの挨拶は、保守と云われる方々が多かったにもかかわらず、心のこもったものでした。今年は戦争法案が国会で審議中ということもあって、戦争できる国づくりへの懸念や批判を、行進団を前にして堂々と述べる彼らの姿には、とても勇気付けられました。

平和行進には、だれでも、どこからでも参加できます。沿道から手を振る人々と出会うだけで、胸が熱くなりました。岐阜では自衛隊員を家族に持つ人が行進に参加し、涙ながらに「自衛隊員を守れ、若者を守れ！」と発言しました。アベ政治を許すマジ！との思いと歩みに、一段と力が入りました。

国際青年リレーに参加したフィリピンのマギー・ファブロスさんは、平和行進で「日本の美しい風景と日本人に出会った。」と私に語りました。まったく同感です。平和行進は平和憲法を具現化した行動です。それが、緑美しい日本の風景に溶け込んでいる様子を、この『一歩でも二歩でも』で実感していただければ幸いです。

**(追記)1月20日の“平和行進”完成披露試写会に
50人が参加
- 同作品のDVD(54分)発売中 個人用4000円 -**

同ドキュメンタリーの完成披露試写会が1月20日、製作委員会と文化の会の共催でココネリで行われ、約50人が参加しました。

また同作品のDVD（54分）が、個人用は4000円、ライブラリー価格15000円で販売されています。

＜問い合わせ先＞

共同映画（株）電話 03-5466-2311

Fax 03-5466-2312

(田場記)

日本の侵略戦争を反省し、平和日本をきづくために

「慰安婦」日韓合意問題の西野瑠美子“特別”講演にご参加を！

2月26日（金）後6時半～ココネリ第1研修室 資料代500円

大統領選を控え、得点稼ぎに焦る朴大統領の
足元を見透かした外交一日本軍「慰安婦」問題

についての日韓政府合意は、安倍政権の歴史修正主義による欺瞞にみちた内容だというのが私

のとらえ方です。

軍の「関与」をいいながら、河野談話にあった「歴史教育の真摯な対応」をすっぱり抜け落としているのが、典型的な問題点です。「週刊金曜日」は「南京」と「慰安婦」の特集で、「安倍自民党の極右体質―歴史修正主義は日本の外交政策か」としています。

今回「スペシャル・フリートーク」としてお招きした西野瑠美子さんは世界のマスコミが大きく報道した「女性国際戦犯法廷」の実施を提唱した人です。週刊金曜日、レイバーネットでもPRしていますので、定員66人は即満杯？を期待しています。参加頂ける方は早めに田場までご連絡下さい。(田場記)

戦争法廃止の署名と「ねりま集会&パレード」を成功させよう

昨年9月参議院で強行採決された「平和安全保障関連法」(通常・戦争法)は、日本国憲法を踏みにじり、国民の意思に全く反した悪法である。これに対して様々な分野の人たちが、「戦争法」廃止の戦いを一層盛り上げて、戦ってきました。

練馬区民も、「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」に呼応して、「戦争法NO！ねりま集会」実行委員会を結成、「区民ぐるみ」の行動を行ってきました。

「戦争法」を決して許さないという思いは、日に日に静まることなく高まっています。、「戦争法NO！ねりま集会」実行委員会では、統一署名と共に、3月5日(土)に、昨年7月1日、9月1日に次いで3回目の大集会とパレードを決め

ております。

練馬・文化の会としても、昨年秋に呼びかけられた「戦争法NO廃止を求める統一署名」(同封)にはいち早く答え、全国で2000万人を集める一翼として、すでにスタートしております。署名活動と共に「3月5日の集会&パレード」の成功のために全力を尽くしたいと思っています。

しかも「戦争法」との関連で、安倍政権が進める「戦争する国づくり」の完成に必要な「緊急事態条項」を憲法改悪の柱にしようと策動を進めております。

ここで私たちは何としても「戦争をする国」にさせないように、地域から頑張っていく必要があります。(森田記)

第5回江古田映画祭へのご協力と応援のお願い 2月27日～3月13日 武蔵大・ギャラリー古藤で 16作品を上映

3.11東日本大震災からまもなく5年が経とうとしています。

特に福島第一原発事故は、放射能汚染による広範で長期的な健康、環境被害をもたらし、いまだ原子炉建屋からは汚染水が放出され続け、10万人の福島県民が今も避難生活を余儀なくされています。

江古田映画祭は5回目を迎えました。今回も私たちは、福島原発事故をひきつづき考えるために、メインテーマを「3.11福島を忘れない」としました。自信の作品をラインナップしています。監督等のトークと企画展示も充実させました。会員の皆さまのご協力と応援をよろしくお願いいたします。

とき：2016年2月27日(土)～3月13日(日)

会場：2016年2月27日(土)武蔵大学1号館地下100 2シアター教室

2016年2月28日(日)～3月13日(日)ギャラリー古藤

上映作品・上映スケジュールは別紙江古田映画祭チラシもしくは江古田映画祭のホームページをご覧ください。

予約優先入場各回40名定員制

ギャラリー古藤でのチケットは、電話・メールでの予約をお願いします。

〇お申込み

メールアドレス fwge7555@mb.infoweb.ne.jp

電話 03 (3948) 5328

映画1本(組)につき(短編は複数上映の場合あり)

[大人] 予約 1000円 当日 1200円

主催 江古田映画祭実行委員会

後援 練馬まちづくりセンター

協力 ギャラリー水・土・木「平井亘作品展」

(田島記)

文化の会45周年記念イベントの検討状況—10月初旬に旧公民館で「沖縄」テーマに講演と映画の集いを計画

今年2016年は戦後71年であるとともに、文化の会創立45周年です。新年会も45周年記念を銘打ち「沖縄と本土を繋ぐ」をテーマに行われましたが、記念イベントも「沖縄」をテーマに計画が進められています。実施時期、場所、内容

については10月初旬、生涯学習センター（旧公民館）、講演と映画という輪郭だけは決まっています。10月実施の場合、旧公民館の申し込み・抽選は4月1日（金）です。イベントの内容はそれからの検討になります。（田場記）

45周年記念誌「みつがしわ」の発行は記念イベントに合わせ9月末に— 練馬の文化・市民運動を概観できる内容に 執筆ご希望の方は編集スタッフまでご連絡を！

10月の記念イベントに合わせて45周年記念誌「みつがしわ」の発行が検討されています。現時点では以下の内容が計画されています。

- 体裁はA4版36～48ページ
- 特集タイトルは「文化分野の（練馬）戦後70年再考」（仮）
- 特集は1項目最大2ページ（3000字）
- 取り上げる分野・項目としては「音楽」「美術」「文学」「アニメ」「漫画」「演劇」「映画」「メディア」「教育（高校増設）」

「教育（高校統廃合）」「教育（教科書問題）」「教育（日の丸・君が代問題）」「図書館問題」など。会員以外にも執筆をお願いする、ほかにトピック的な内容も・・・

- 編集・刊行の段取り—原稿依頼：5月末迄 原稿締切：7月末 原稿整理・レイアウト印刷発注：8月末、・刊行：9月末
- 編集スタッフ：小沼、田場、森田、響田、荷口

（田場記）

練馬の住民運動をつくった女たちの記録—5冊子を作成 小沼 綾子

練馬に生きた女性たちの記録「始まりはひとりから」をご紹介します。1997年に人権講座を終えた後の自主グループとして出発した「女性史を拓く会」が、練馬の住民運動を支えた女性たちの話を聞き集め、「女性史」として残す仕事はじめて19年になります。初めの数年は話を聞くだけに始終していましたが、2003年に「始まりはひとりから」その1を発行することができました。続いて聞き書き集を2冊仕上げ、その後に、聞き書き集や、母親連絡会の豆ニュース（立教大学に保管されている）などから拾い上げてテーマ別に編集した「総論編」を仕上げることができました。「総論編」は教育編、人権・平和・消費者運動編、福祉・保健編の3冊にまとめて編集しています。現在は光が丘の歴史、区長準公選制を含む女性の政治参加、社会教育などに取り組んでいます。

全くの素人ばかりで始めた「練馬女性史を拓く会」ですが、当初からのメンバーは私一人となり、現在は元社会教育主事の野々村恵子さんや、総合女性史研究会のメンバーなども加わり、活動を牽引してくれています。

板橋区から分離独立したばかりの練馬区はインフラの遅れがひどく、電柱すら個人で買うといった状況にあり、民主主義が導入されたとはいえ、人々は戦前の価値観の中で生きていました。そんな時代から寺沢和子さん、堤園子さんらは住民運動を始めたのでした。やがて人口が増加し、学校不足や道路問題、深刻な公害などが生活を脅かし、教科書検定の問題なども始まります。その頃になると教科書訴訟の事務局長として活躍する伊藤文子さんなど、さまざまな女性が、それぞれの立場で運動に加わっていきます。今とは状況が異なりますが、女性たちが諦めずにしたたかにたたかった記録は私たちを励ましてくれます。

近年は女性の社会進出が進んで女性の運動は陰りを見せ、定年退職後の男女がともに運動をしていく時代になっていますが、若い人がそれに続いていってくれることを願わないわけにはいきません。特に若い人に「始まりはひとりから」を読んでほしいと思っています。1冊500円で販売していますので、ご希望の方は03-3991-7087（小沼）までご連絡下さい。

2020東京五輪に向け道路整備・羽田航路変更が急進展か？

大型道路計画は2月10日締めで意見公募へ
羽田航路は低空騒音対策などで大田～練馬などで説明会実施

練馬では区内を横断・縦断する大型道路計画が立て込んでいますが、このうちの「優先整備路線」（案）が昨年12月に発表され、2月10日締め切りで意見募集されています（同封「とめよう「外環の2」ニューズ参照）。また、羽田国際空港の増便に伴う低空飛行“騒音”対策で昨年7月から大田、目黒、品川、練馬、浦和など首都圏全域で説明会が開かれています（同封「羽田空港のこれから」ニューズレター参照）。ともに、2020年の東京五輪に向けたもので、住民

の暮らしや環境に影響が大きく、膨大な金がかかるものは五輪を名目に強行しようという都や区の思惑がミエミエです。特に羽田航路問題などは、横田基地との絡みで戦争法・安保法の影響も見え隠れします。

今回は関連チラシの同封にとどめますが、文化の会としても、何らかの方法でまず多くの住民・市民の皆さんに問題を知らせることを考える必要があります。会員のみなさま、何をどうすればいいのか？お知恵下さい！（田場記）

来賓含めて60名が出席—45周年記念新年会「沖縄と本土を繋ぐ集い」 好評だった「もあい練馬」柏木講演と沖縄舞踊・料理

45周年を記念して1月9日（土）、練馬区職員研修所で来賓を含め60名が出席して新年会が行われました。司会・進行は小田原美保、寺崎進の両名がメインで担当、大内要三代表が開会あいさつの後、「もあい練馬」の柏木美恵子さんが「沖縄・辺野古はいま・・・」と題してメインスピーチ。続いて植竹しげ子さん（民族芸能研究所）ら6人のチームが沖縄舞踊・民謡を演じました。



沖縄居酒屋「ゆんたく」のママによる「なだそうそう」のフラダンス

の特別披露もあった後、児童～大人向けの文学書「トンヤンクイがやってきた」（新聞広告同封）を著した直後の岡崎ひでたかさんが乾杯の音頭をとり、宴会がスタートしました。10人以上を数えた来賓のひとことスピーチがあり、最後は植竹チームの三線を伴奏に「沖縄を返せ」を出席者全員が手を組みあって（写真）の合唱でお開きとなりました。参加者数は最近では最も多かったのですが、残念ながら会員の無断欠席が10人もあったのは、高齢化のなせる業だったのでしょうか？

因みに格安でサービスいただいた居酒屋“ゆんたく”の沖縄弁当の献立メニューは「よもぎ入り炊き込みご飯」「アオパパイヤ炒め物」「ゴーヤ天ぷら」「スパゲティーサラダ」「きざみ昆布入り炒め物」でした。“ゆんたく”（吉田光枝さん）の電話番号は3994-2489です。（田場記）

15年度年会費2000円の納入者は64人 依然、会員総数の半数に届かず

2015年度の年会費2000円を納入いただいた方は16年1月末現在で以下の64人です。1000円値下げした最初の年ですが、総会での徴収ができなかったなどのため、残念ながら依然会員総数の半分に届いていません。未納の方には振込用紙を同封致しましたので、よろしくお願いいたします。会費に関するお問い合わせは嚮田迄お願いします。 自宅（3948）5129 携帯090（9809）8591

青木和宣	青木福男	姉齒久子	岡田和義	奥本映子	小田原美保	桂南なん	加藤雅子	川副博敏	木谷八士
嚮田英夫	嚮田富士子	小岩昌子	神谷国善	上甲まち子	田場洋和	田場祥子	田場暁生	猿田佐世	寺沢和子
片山明子	寺田秀夫	小林あかね	豊田勢子	荷口鉄雄	根上 茂	樋口 学	樋口弥穂子	古川祥子	不破秀彦
前野慈作	矢沢重光	矢島十三子	横田 譲	吉田幸子	吉原 功	和田定雄	渡部國男	鈴木安友	栗原新蔵
三枝和仁	東海林勤	比嘉 高	佐藤 進	徐 正昊	岡崎ひでたか	阿部信子	森田彦一	森田亮子	中本博之
浅原修一	福島洋二	杉浦貞子	新井修一	進藤通弘	田島和夫	大内要三	柳沢健二	椎木俊之	植竹しげ子
奥本映子	大日方純夫	島田孝二	勝山 繁						